

2021 年3 月22 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 農 業 総 合 研 究 所
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 堀 内 寛
(コード番号：3541 東証マザーズ)
問合せ先 取締役経営企画室長 坂本 大輔
(TEL. 03-6417-1047)

<マザーズ>投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○開催状況

開催日時 2021年3月19日（金） 15:30～16:00

開催方法 対面による実開催

開催場所 香川証券株式会社 銀座支店

(東京都中央区銀座四丁目12番15号 歌舞伎座タワー20F)

説明会資料名 スモールミーティング資料

【添付資料】

説明会において使用した資料

以 上



株式会社農業総合研究所 Nousouken Corporation



株式会社農業総合研究所
Nousouken Corporation

<証券コード：3541>

Passion for Agriculture～農業に情熱を～



事業紹介

社名	●株式会社 農業総合研究所
設立	●2007（平成19）年10月25日
代表者	●代表取締役会長CEO 及川 智正 ●代表取締役社長 堀内 寛
本社	●和歌山県和歌山市黒田99-12 寺本ビルⅡ 4F
資本金	●494百万円
業績	●売上高：3,473百万円（2020年8月期） ●流通総額：10,862百万円（2020年8月期）
従業員数	●231名（役員・パート含む）
主な事業内容	●農家の直売所事業 ●産直卸事業
事業所	●営業所：「東京営業所」「大阪営業所」「名古屋営業所」 ●集荷場：全国94拠点
登録生産者数	●9,435名
販売拠点	●全国スーパーマーケット：国内1,656店舗／香港12店舗
関連会社	●株式会社世界市場／Nippon Ichiba Hongkong Limited



株式会社農業総合研究所
Nousouken Corporation

産直流通のリーディングカンパニー

ITを駆使し、クリエイティブに新しい農産物流通を創造し続ける会社

Vision

経営目標



持続可能な農産業を実現し、生活者を豊かにする

Mission

経営方針



ビジネスとして魅力ある農産業の確立

Innovation

農業革新



農業の産業化
産業として強い農業

農業の構造改革
「ありがとう」が届く構造

農業の流通革命
時代に合致した流通

Challenge

創造挑戦



ベンチャー精神

Mind

行動指針



愛情

すべてを愛する人間

感謝

ありがとうを伝える人間

笑顔

幸せを呼ぶ人間

■ 都会でのスーパー内農産物直売所事業



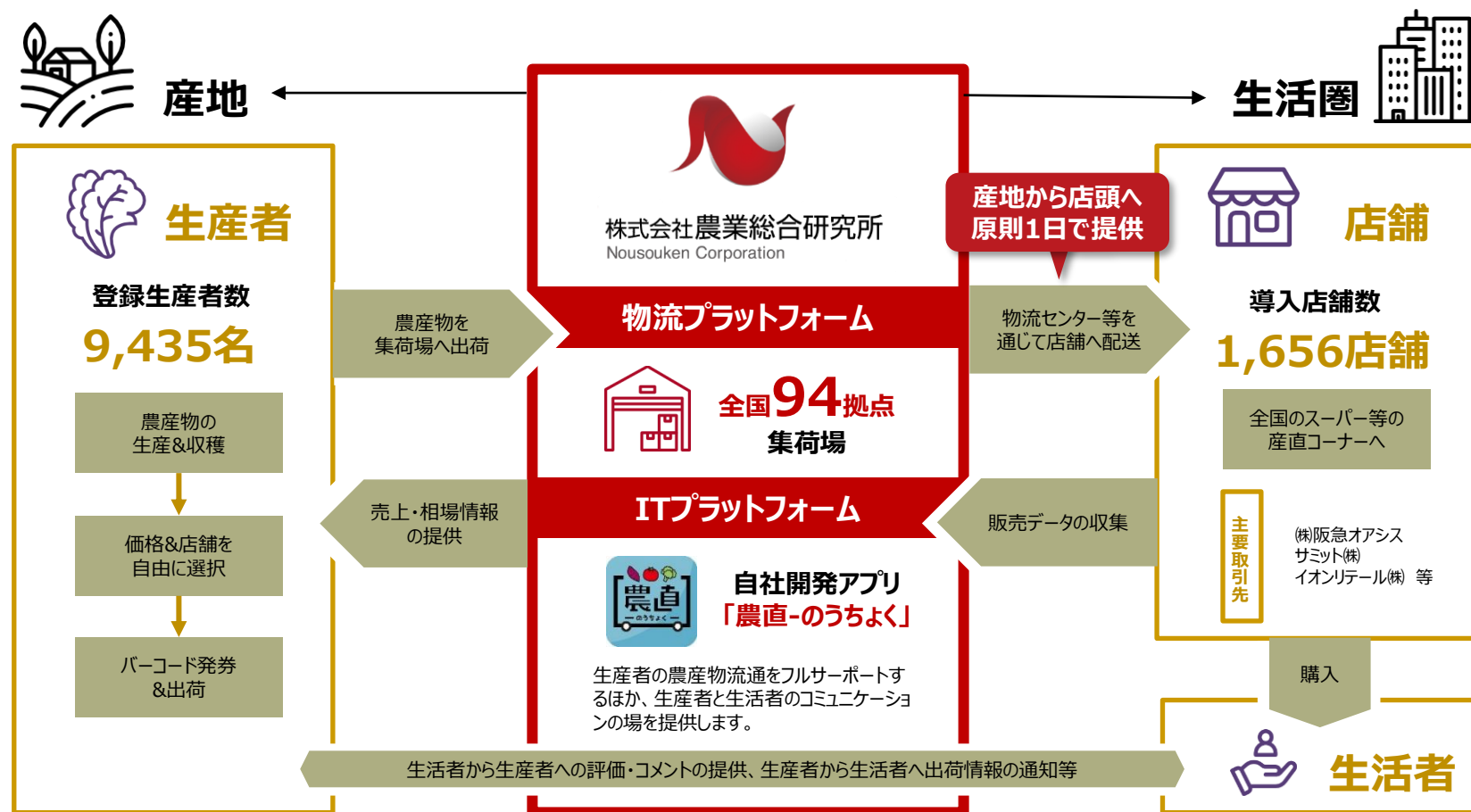
●●● 生産者と都市部スーパー等を直接つなぎ
新鮮で顔が見える農産物を生活者にお届け



生産者の写真・氏名・農産物名等を表示し、
“顔の見える売り場”に



「物流」×「IT」 新しい農産物流通プラットフォーム



都会のスーパーマーケット情報が手に入るようにわかる仕組み

「農家の直売所」専用アプリケーション『農直アプリ』
販売戦略支援支援ツール



- ▶ 売上データ、販売率、ランキング、支払明細書などの確認
- ▶ 店舗の基本情報、その店舗に出荷されている商品の確認
- ▶ 商品相場情報、おすすめ価格、店頭価格の確認
- ▶ イベントカレンダー店舗フェアなどイベントカレンダー
- ▶ 商品に貼るバーコードラベルなどの発券機能
- ▶ 栽培履歴（トレーサビリティ）の管理

etc...

順次機能追加し、生産者の農産物流通をフルサポート

開発中アプリ

生活者向けアプリ



バイヤー向けアプリ





直接、生産者にお会いして
安全性と品質を確かめています。

食べる人が大切。

実際に商品を確認し、
鮮度を保つため最短で届けます。

作る人が大切。

実際に会って、生産者、農場を確認しています。

伝えることが大切。

生活者へ「こだわり」を
生産者へ「ありがとう」を届けます。

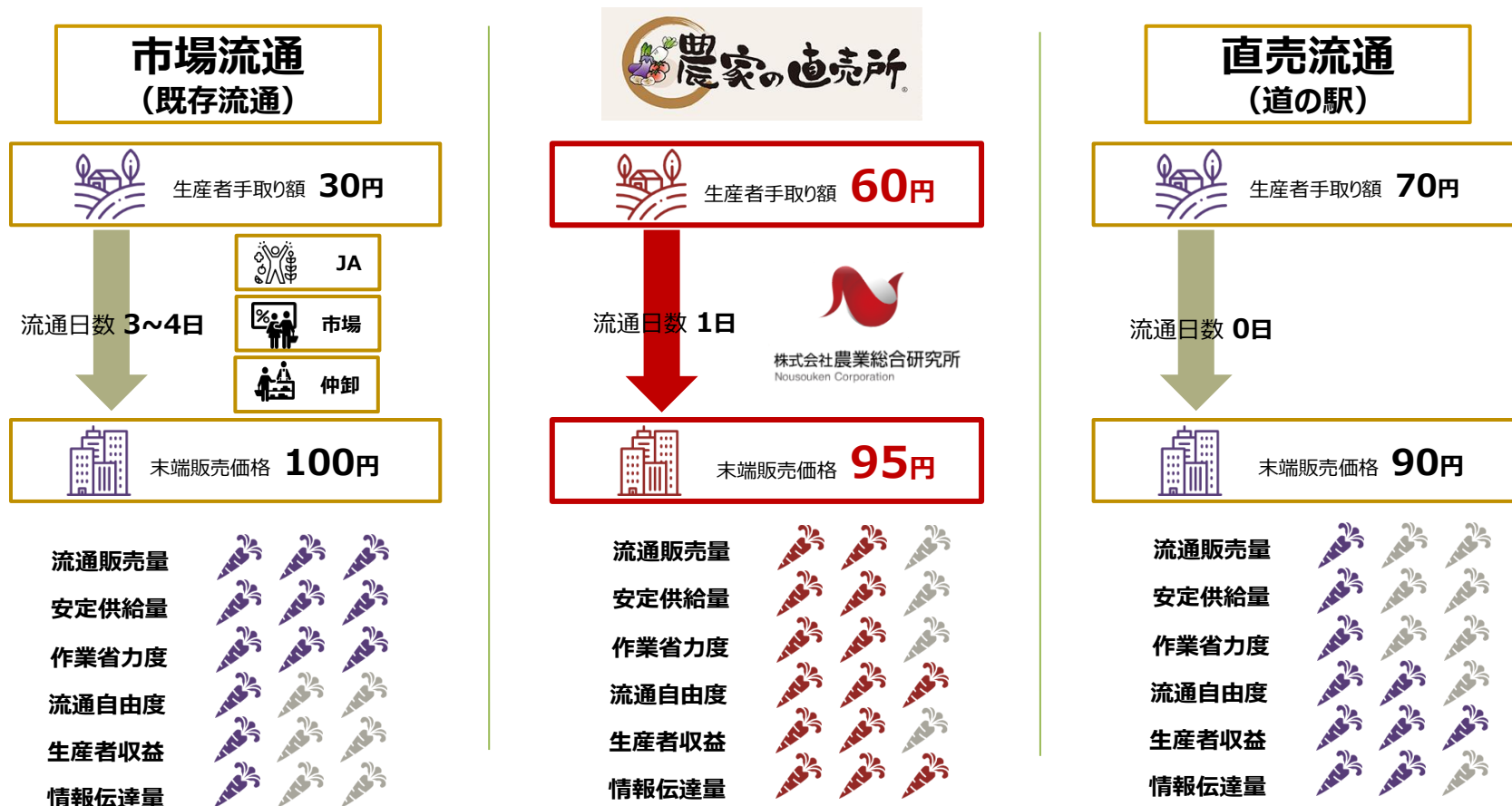
健康が大切。

農薬をデジタル管理し、
定期的に残留農薬検査を実施しています。

応援が大切。

国産野菜を食べることが、農業の発展につながります。

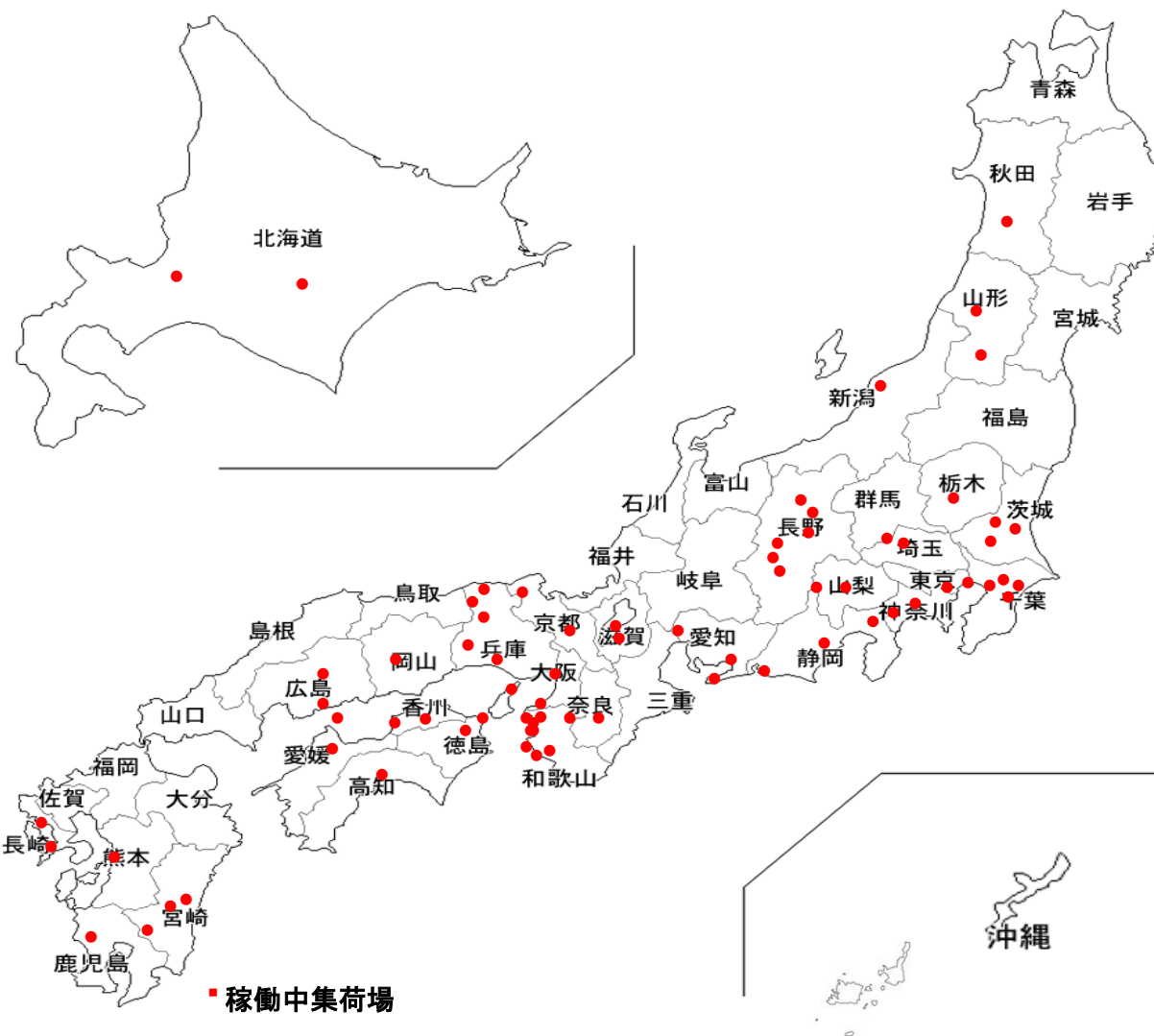
市場流通と直売流通の中間となる「農家の直売所」



「農家の直売所」集荷拠点マップ



株式会社農業総合研究所
Nousouken Corporation

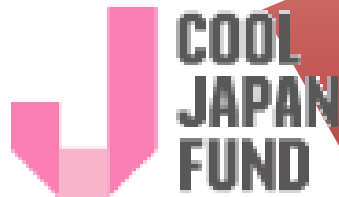
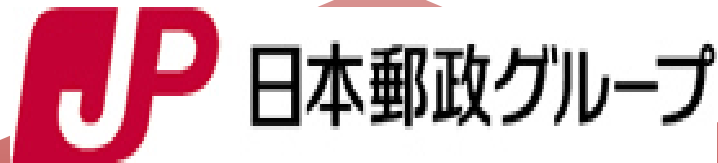


《稼働中集荷場》

- 【北海道】 芽室、札幌
- 【山形】 河北、金山
- 【茨城】 鉾田、石岡、筑西
- 【東京】 東京、東京大田センター
- 【千葉】 富里、旭、匝瑳、香取、柏
- 【神奈川】 湘南、秦野、小田原
- 【埼玉】 深谷、児玉
- 【静岡】 浜松、焼津
- 【山梨】 甲州勝沼、北杜
- 【長野】 松本、安曇野、須坂、上田、諏訪、中野
- 【愛知】 稲沢下津、豊橋、田原、豊川、一色
- 【滋賀】 栗東
- 【奈良】 宇陀、大和郡山、橿原
- 【京都】 亀岡、与謝野
- 【大阪】 貝塚、富田林、大阪摂津センター
- 【和歌山】 紀の川第1、紀の川第2、和歌山
橋本、かつらぎ、印南、有田、美浜
- 【兵庫】 たつの、三木、淡路、南あわじ
丹波、朝来、豊岡
- 【岡山】 津山
- 【広島】 大崎上島、世羅
- 【香川】 高瀬、高松、豊浜郵便局
- 【徳島】 小松島
- 【高知】 高知、土佐郵便局、安芸郵便局
土佐山田郵便局
- 【愛媛】 丹原、西予郵便局、松山西郵便局
松山南郵便局
- 【宮崎】 川南、西都、都城
- 【熊本】 植木
- 【長崎】 有喜、西海
- 【鹿児島】 鹿児島

■ 特徴(資本&業務提携)

他社と協業しインフラ整備



株式会社 農林漁業成長産業化支援機構(A-FIVE)
Agriculture, forestry and fisheries Fund corporation for Innovation, Value-chain and Expansion Japan

農業に情熱を！

Passion for agriculture



業績説明

■ 全社業績 (FY2020.08)

コロナ禍による巣ごもり消費等を背景にした旺盛な青果需要を取り込み、
流通総額は前年比で14.4%増、売上高は21.8%増

単位：百万円	FY2020.8 実績		FY2019.8 実績		前年同期比	
	4Q累計	対売上高比	4Q累計	対売上高比	増減額	増減比
流通総額	10,862		9,497		1,365	114.4%
売上高	3,473		2,852		621	121.8%
委託販売	1,645		1,557		87	105.6%
買取委託	1,514		1,094		420	138.4%
卸販売	144		59		85	243.9%
その他	169		140		28	120.4%
売上総利益	2,129	61.3%	1,897	66.5%	231	112.2%
委託販売	1,645	100.0%	1,557	100.0%	87	105.6%
買取委託	335	22.1%	218	19.9%	116	153.5%
卸販売	22	15.8%	11	19.2%	11	199.6%
その他	126	74.8%	110	78.4%	16	114.9%
販売管理費	2,092	60.3%	1,853	65.0%	239	112.9%
営業利益	36	1.1%	44	1.6%	△ 7	82.7%
経常利益	46	1.3%	46	1.6%	0	100.9%

流通総額に対する
売上総利益率
…19.6%

流通総額に対する
売上総利益率
…20.0%

農家直送商品をスーパーマーケットのすべての青果売場に提供

農家の直売所事業

青果売場内の産直コーナー向け事業
委託販売を行う流通プラットフォームを提供



直売コーナー
(市場規模3,000億円*)

産直卸事業

青果売場内の青果コーナー向け事業
顔が見える安心安全な商品を卸販売にて供給



青果コーナー
(市場規模2.7兆円*)

出典：スーパーマーケット年次統計調査報告書2018年

*各コーナーの市場規模は、スーパーマーケット青果売上高より当社推計

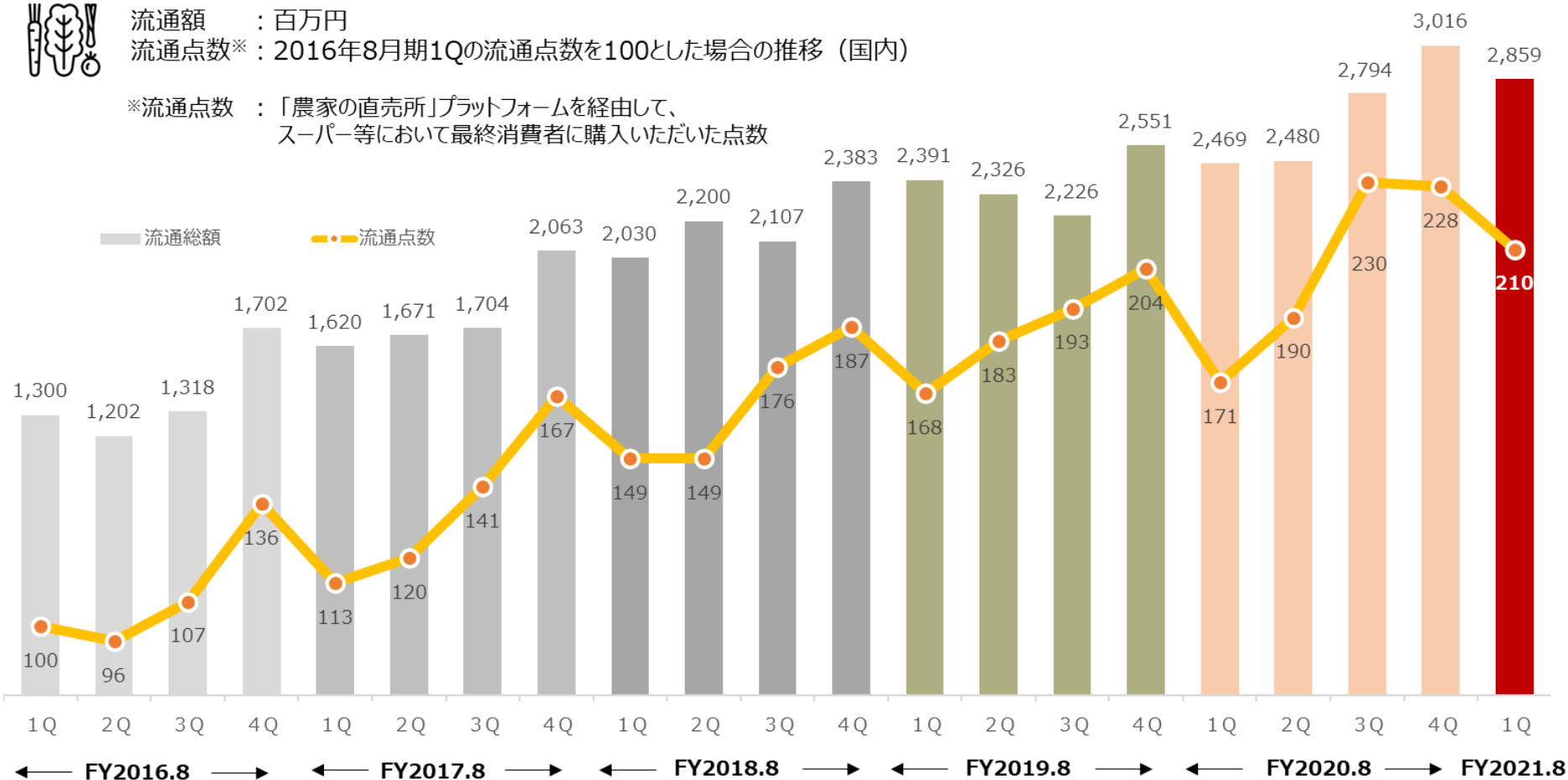
昨年同期比で流通総額・流通点数ともに成長をキープ°



流通額：百万円

流通点数※：2016年8月期1Qの流通点数を100とした場合の推移（国内）

※流通点数：「農家の直売所」プラットフォームを經由して、スーパー等において最終消費者に購入いただいた点数



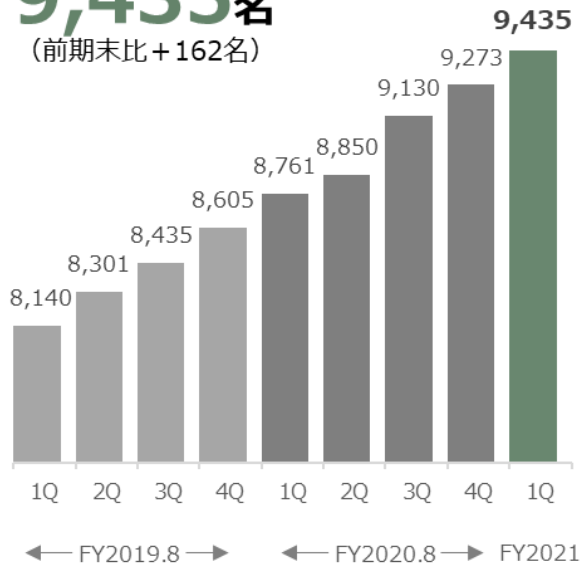
農家の直売所事業: 各種KPI

登録生産者数推移



9,435名

(前期末比+162名)



登録生産者数 (206名増、44名減)

増加

新規集荷場開設に伴う増加のほか、
関東を中心に生産者が拡大

減少

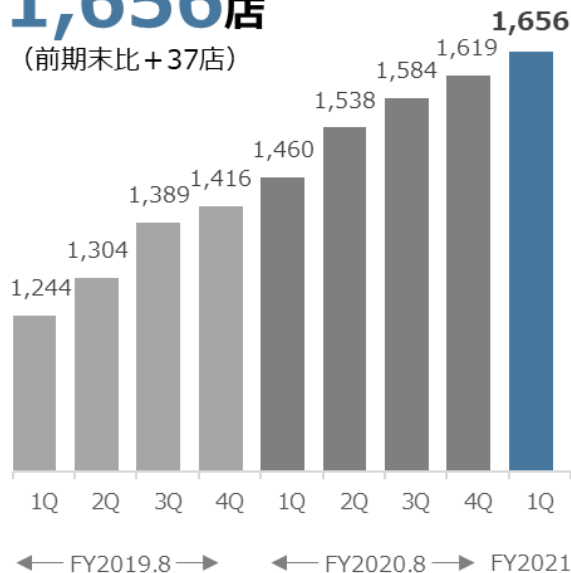
集荷場の統廃合に伴う減少等

店舗数推移



1,656店

(前期末比+37店)



店舗数 (42店舗増、5店舗減)

増加

主に既存取引先店舗での開設による増加

減少

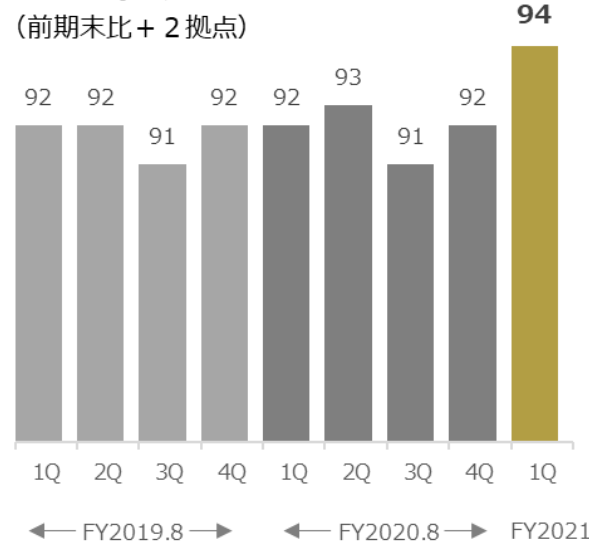
取引先店舗自体の閉店による減少

集荷拠点数推移



94拠点

(前期末比+2拠点)



集荷拠点数 (4拠点増、2拠点減)

増加

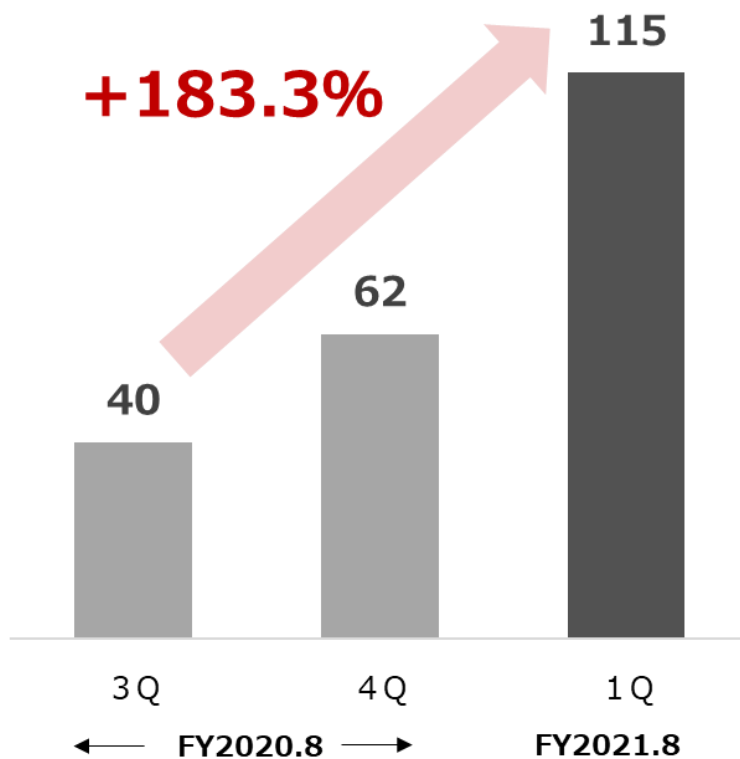
本格的な加工機能を併設した集荷場
(島根県) 等の開設

減少

物流効率向上のため、集荷場を統廃合

事業立上げから、堅調に成長

<流通総額の推移> 単位：百万円



<産直卸事業の流れ>





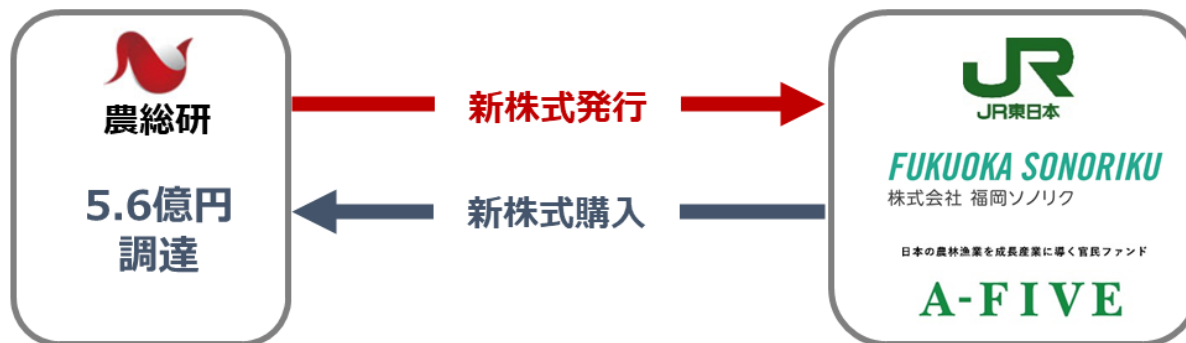
TOPICS

第三者割当増資による5.6億円の資金調達



株式会社農業総合研究所
Nousouken Corporation

農産物流通プラットフォームの高度化を目的とした設備投資やシステム開発を目的に下記の通り第三者割当による新株式の発行で約5.6億円を調達



第三者割当の概要

項目	概要
発行新株式数	755,700株（発行済総数：21,014,500株）※2020年10月14日時点
発行価格並びに総額	1株につき741円（総額：559,973,700円）
割当予定先及び株数	東日本旅客鉄道株式会社（割当株数：134,900株）
	株式会社福ソノリク（割当株数：134,900株）
	株式会社農林漁業成長産業化支援機構（割当株数：485,900株）
払込期日	2020年11月4日

資金使途

- ✓ 物流加工センターの機能拡張
- ✓ システム開発
- ✓ 集荷拠点の整備・立上げ運営費用

資本業務提携契約の締結



東日本旅客鉄道との資本業務提携

目的： 農作物の集荷場の整備を通じて、生産者にとって利便性の高い出荷環境を提供。またJRE MALLによる販路の拡大を通じて、鮮度の高い農作物を販売できる農産物流通プラットフォームの高度化を図る

- ① 駅および駅周辺施設などを活用した集荷場の整備
- ② 小売店舗およびJRE MALLでの農産品の販売拡大

FUKUOKA SONORIKU

株式会社 福岡ソノリク

との資本業務提携

目的： 資本業務提携契約の締結を通じて、第三者割当増資を実行するとともに、物流インフラにおける豊富な実績を兼ね揃えた同社との業務連携により、下記2点を軸に早期に高品質・高機能なプラットフォームを構築

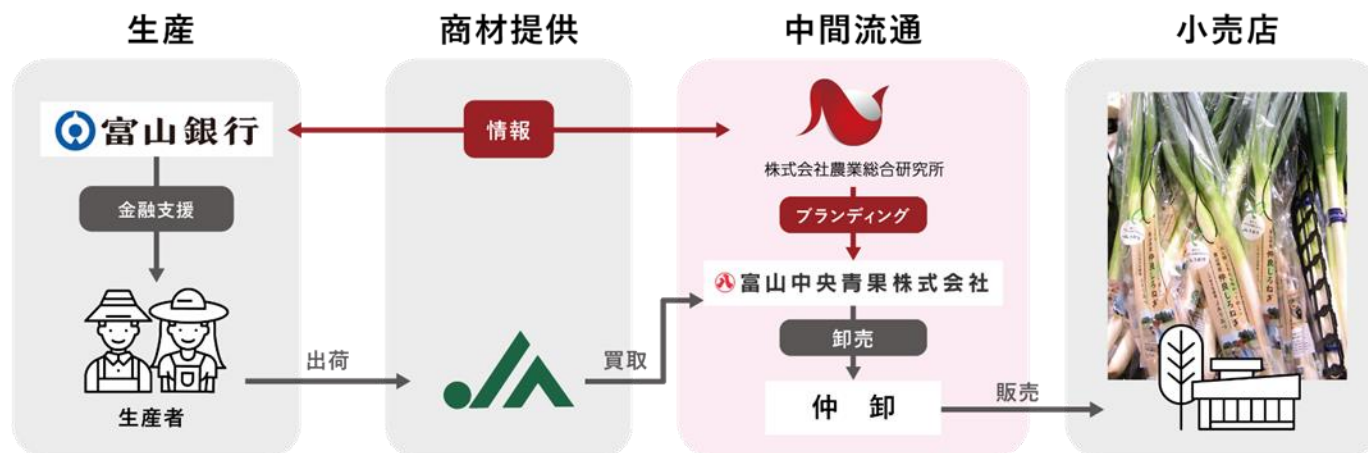
- ① 西日本エリアにおいて、福岡ソノリクが所有または管理する倉庫や物流拠点を活用
- ② 当社登録生産者の近隣集荷場からスーパーマーケット等の物流拠点への輸送業務

卸売市場と市場外流通の農業ベンチャーが富山で初タッグ

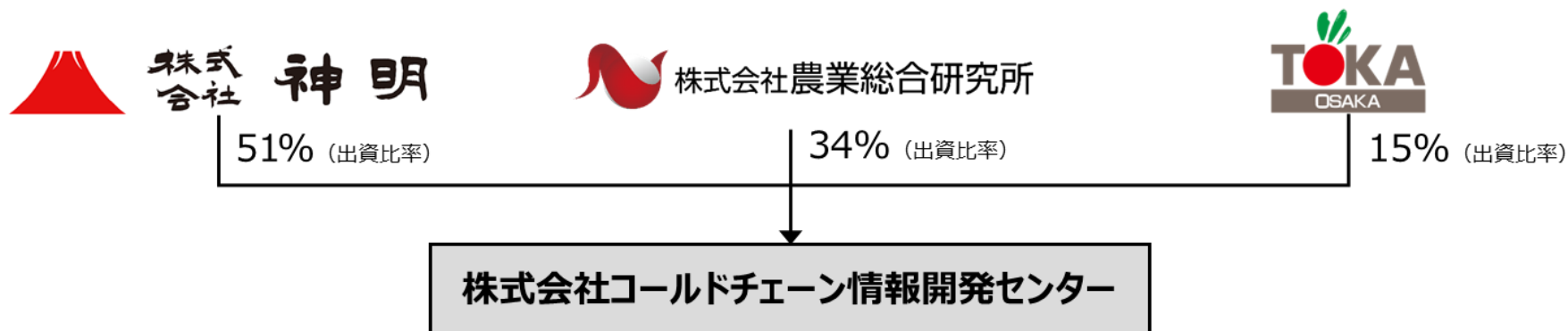
目的： 富山県産青果類の流通量と産出額増加を目的とし、2020年9月3日に「連携協力に関する協定書」を締結。市場流通と市場外流通、地方銀行の異色コラボにより新しい流通の仕組みを創造する。

- ① 基幹的なインフラでもある市場流通と市場外流通の農業ベンチャーが異色のコラボ
- ② 生活者の知りたい情報を可視化することで安全・安心と素材の魅力をお届け
- ③ 農業ベンチャーのエッセンスを加えることで市場機能をアップデート
- ④ 地域の農業を元気にすることで素敵富山に貢献

提携スキーム



米卸最大手及び青果卸大手と新しい流通の仕組みを創造



新会社の概要

項目	内容
----	----

商号	株式会社コールドチェーン情報開発センター
設立	2021年2月(予定)
代表者	代表取締役社長 東 光法 (あずま みつのり)
所在地	東京都中央区日本橋小綱町16-15 神明日本橋ビル内
資本金	1,000万円(設立時)
出資比率	神明51%、農総研34%、東果大阪15%
事業内容	物流技術の研究開発、農産物流通の仕組み作り

目的

物流技術(コールドチェーン)の研究開発や新しい農産物流通の仕組み作りにより、物流プラットフォームの高度化や流通加工業務の連携を推進。
3社間での幅広い協働により、米及び青果類の流通・消費拡大を図る。